

2021年8月31日

会社名 ベルグアース株式会社

代表者名 代表取締役社長兼CEO 山口 一彦

(JASDAQ・コード: 1383)

## 日本最大級のウリ科専用閉鎖型育苗施設の本格稼働を開始

当社は、2021年2月、本社農場（所在地：愛媛県宇和島市）に日本最大級となるウリ科苗専用の育苗施設として、屋外設置型人工光型閉鎖型育苗施設（以下、「第二閉鎖型施設」といいます。）が完成し、本格稼働いたしましたことを下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第二閉鎖型施設の開発経緯

日本農業界において農業従事者の高齢化や小規模化が急速に進んでいる中、近年では、自然災害や異常気象など農作物の栽培に影響を及ぼす事象が多く発生しており、当社においても、野菜苗を安定的に生産し供給できる育苗技術の重要性がさらに高まっております。

このような中、当社は、2014年より気象条件に左右されずに、高品質で安定した野菜苗の育苗を可能とする、屋外に設置できる閉鎖型育苗施設の開発を進めて参りました。

この度稼働を開始した第二閉鎖型施設を利用することにより、1年を通して安定供給が可能となり、生産者の計画生産に貢献することができると共に、近年需要が増加しているウリ科野菜苗の生産供給体制の構築を目指して参ります。

#### 2. 第二閉鎖型施設の内容及び今後の展開

第二閉鎖型施設は、当社が2006年に初めて導入した閉鎖型育苗施設（以下、「第一閉鎖型施設」といいます。）と比較して、建物全体を育苗施設とし、施設内を有効的に活用した設計により、3分の2の面積で約1.5倍の生産が可能となりました。また、LED光源を採用した育苗により、省エネルギー化に取り組むこともできました。更に、約15年間培ってきた閉鎖型育苗技術のノウハウを活かし、第一閉鎖型施設では制御不能であった湿度コントロールを行えるようになった結果、これまでより緻密で且つ高度な環境制御のもと、キュウリやスイカ、メロンといった環境の変化に敏感なウリ科の野菜苗を、気象条件に左右されることなく安定的に大量生産することが可能となりました。第二閉鎖型施設では、第一閉鎖型施設と同様に閉鎖空間で育苗を行うため、無農薬で生産しており一層「安心・安全」な野菜苗を提供して参ります。

今後は、ウィルス病対策として植物ワクチンを接種したキュウリ苗や購入苗の依存度が高まっているメロンやスイカなどを顧客ニーズに合わせて、安定した品質で増産を行える生産体制の強化を目指し、更には、長年蓄積してきた膨大な育苗データやAI画像認識技術を活かした新たな育苗システムの開発にも取り組んで参ります。

### 3. 推奨製品

第二閉鎖型施設で育苗することによる効果や優位性を最も実感していただける野菜苗は、当社オリジナル製品のヌードメイク苗®です。

ヌードメイク苗®とは、接ぎ木直後の苗で、その特徴は、生産者や育苗会社の皆さまが、その後の育苗や生産に合わせて計画通りに栽培・管理しやすくすることができる製品です。特に、高度な技術や環境調節が必要なウリ科の野菜苗においては、接ぎ木までの工程を当社が担い、高品質で安定した苗質のヌードメイク苗®を生産者や育苗会社の皆さまに使用していただくことにより、生産工程における育苗期間の短縮や作業負担の軽減が可能となります。

また、鉢上げ用セル苗や直接定植用のアーススレート苗やポット苗などの製品につきましても、これまで以上に質・量共に顧客ニーズに応えられる野菜苗を提供することができると確信しております。



スイカ：ヌードメイク苗®



キュウリ：鉢上げ用セル苗



スイカ：アーススレート苗  
(直接定植用オリジナル規格)



メロン：直接定植用ポット苗

【第二閉鎖型施設内】



---

本件に関するお問合せ先：総務部 玉川、柳川 TEL：0895-20-8231

ベルグアース株式会社 〒798-3361 愛媛県宇和島市津島町北灘甲 88-1 <http://www.bergearth.co.jp>

---